

市 長	副市長	局 長	次 長	係 長	係	記 録

【所属名：ガス水道局】

【会議名：糸魚川浄化センター環境保全会議】

☐開示

☐一部開示

(理由:条例第 条第 号 該当)

☐不開示

☐時限不開示 (開示: 年 月 日)

会 議 録

作成日 令和7年10月22日

日	令和7年10月21日(火)	時間	13:30 ~ 15:05	場所	糸魚川浄化センター2階会議室
件名	協議事項 (公開) 議事 (1) 令和6年度事業報告について ・放流水水質試験 ・公共用水域水質試験 ・内水面水質試験 ・臭気調査 ・臭気測定 ・糸魚川浄化センター工事 (2) 令和7年度事業計画について ・糸魚川浄化センター工事 (3) その他 ・水洗化率 ・下水汚泥広域処理について ・糸魚川市ガス事業譲渡及び上下水道事業包括委託の公募開始について				
出席者	【出席者】 10人 丸山委員、齊藤委員、小林委員、金子委員、久保田委員 霜越委員、佐藤委員、鷹澤委員、田原委員、倉又委員 【欠席者】 2人 井澤委員、吉田委員 【事務局】 3人 陶山局長、鍋島係長、塚田係長 【同席】 3人 糸魚川二幸(管理委託先) 杉原氏、伊藤氏、朝日氏				
	傍聴者定員	無	傍聴者数	0人	

会議要旨

- 1 開会(13:30) 進行 塚田係長
- 2 委員及び職員の紹介
- 3 あいさつ 陶山局長
- 4 環境保全会議の役割

- 5 会長・副会長の選出
金子会長、霜越副会長を選出

6 議 事

(1) 令和6年度事業報告について（説明：事務局）

- ・放流水水質試験
- ・公共用水域水質試験
- ・内水面水質試験
- ・臭気調査
- ・臭気測定
- ・糸魚川浄化センター工事

【質疑・意見】

- (委 員) 資料No.8 の BOD 平均値だが、竹ヶ花上流より下流の数値がいいということは、浄化センターから放流している水のほうが綺麗な水ということか。
- (事務局) 過去の記録では、下流より上流で BOD が低くなっているが、上流の水量が少ないなどの理由で令和6年度は平均すると BOD が高く出たものと考えている。
- (委 員) 去年は浄化センター下流の場所に小さな魚がいたが、今年はいないようだ。
- (事務局) 浄化センターの放流水の水質に変化があった訳ではないので、思いつく理由がない。気温や降水量など様々な理由があるのではないか。
- (委員長) 資料No.2①の5月の数値が下がった要因は何か。
- (事務局) 季節の変わり目の水質変化で糸状菌が発生し、一時的に透視度が下がったものであり、即時に回復措置を行っている。

(2) 令和7年度事業計画について（説明：事務局）

- ・糸魚川浄化センター環境整備

【質疑・意見】

- (委員長) 設備更新の頻度はどれくらいか。
- (事務局) 機械・電気の標準耐用年数は15年だが、1.5倍の23年以上を目安に更新計画を立てている。
- (委員長) 突然使えなくなることはあるのか。
- (事務局) 設備が故障した場合でも、他の設備がバックアップすることで、運転が出来なくなることがない様にしている。
- (委 員) 埼玉県の下水道事故があったが、市内で同じような場所はあるのか。
- (事務局) 過去に須沢地区で硫化水素の影響で管渠が破損したことがあり、布設替工事を行った事がある。現在すべての管渠の点検調査を進めており、異常箇所があれば、更新計画を立てる様にしている。
- (委 員) 市内で一番大きい管はどれくらいでどこにあるのか。
- (事務局) 糸魚川浄化センターへ流入する箇所直径1mである。

(3) その他（説明：事務局）

- ・水洗化率について
- ・下水汚泥広域処理について
- ・糸魚川市ガス事業譲渡及び上下水道事業包括委託の公募開始について

【質疑・意見】

(委 員) 水道料金が上がっているが、下水道料金はどうなるのか。

(事務局) 人口減少や物価上昇、施設の老朽化対策や耐震化などの工事費もあり、下水道料金も段階的に値上げをしている。

(委 員) 未接続世帯はどういう人たちなのか。接続のお願いについて、計画しているのにせかされたことがある。各家庭の事情があるので、無理強いはしないでほしい。

(事務局) 未接続世帯は高齢者世帯など理由のある方がほとんどである。接続のお願いについては、それぞれの事情に応じて対応していく。

(委 員) 汚泥の処理設備はどこに作るのか。水の影響は大丈夫なのか。

(事務局) 汚泥は汚泥棟に受入れ脱水を行うので、水処理に影響は出ない。

(委 員) 汚泥を毎日運ぶということだが、天候や道路事情で行けないことも予想されるが、何日か溜められるのか。

(事務局) 長期休業なども見据えて。一定期間、施設で貯留できるように計画している。

(委 員) 20 年 30 年先を見据えて、維持管理等のコストをかけない方法の検討をお願いしたい。合併して 20 年経過したのに水道の料金が統一されていない。料金統一をお願いしたい。

(事務局) 3 地域で違っていた水道料金体系の統一を行った。今後統一に向けて段階的に料金改定を行っていく予定である。

(委員長) 包括委託する計画ということだが、具体的にどうなるのか。民間だと利益を求めることになるのではないか。

(事務局) これまで各処理場、施設ごとに単年で行っていた契約に修繕や更新と市が直営で行っていた料金徴収事務などをまとめて、10 年契約をするものである。

(委 員) この計画に対して、議会の議決等必要なことは何か。

(事務局) 9 月議会で 10 年間の債務負担行為の議決を得ている。今後、委託や譲渡の契約や各年度での予算などで議決が必要となる。

(委 員) ガス施設について、ガバナー室や梶屋敷の供給所跡地も譲渡されるのか。敷地内に消火栓がある。

(事務局) ガス施設は民間譲渡となる。消火栓は譲渡後も使用できる。

7 閉会 (15 : 05)

以上